

緑化通信

2024 4月25日 (年6回25日発行) 第504号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: https://www.uekior.jp/ E-mail: honbu@uekior.jp
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境に配慮するため FSC®森林認証紙を使用しています。

令和6年度

第3回理事会を開催

令和6年3月26日(火)13時から協会の会議室において、理事13名、監事2名出席の第3回理事会が開催された。

議事の内容は次の通り。

○新理事体制について

委員会・部会の担当理事を決定した(左表参照)。緑育出前授業実行委員会は、採用とする。令和7年通常

し、日本列島植木植物園運営委員会は広報・研修委員会の小委員会として運営することとなった。

○新事務局長就任について

太田和也氏を4月1日付で採用し、事務局長として任命することを承認した。なお、就業規則により3カ月の試用期間を経て本

総会にて専務理事候補として推薦する方針。○2027年国際園芸博覧会について

植物調達パートナーとして落札した「2023年度国際園芸博覧会に向けた植物の早期調達・育成管理業務委託」について植物調

達、写真画像収集、書類作成を経て3月末に完了報告書を提出する予定である。

4月以降も2027年国際園芸博覧会に向けて幾つかの案件が出ており、検討し適切に対処していくことを確認した。

○令和7年度通常総会について

設立55周年となる令和7年度通常総会は東京で開催する。社会全体の催事需要増や会場費上昇など懸念事項があるものの、会場候補を絞り込んでおり、開催日とあわせて早期に開催概要を公表する。

○荷札の新印刷について

協会荷札についてデザインの一部変更。裏面に協会ホームページのQRコードとURLを記載する。初夏には新荷札に切り替わる予定。

○顧問委嘱規程の一部改正について

顧問委嘱規程の一部改正を審議し、承認した。委嘱規程第3条の委嘱基準は(1)国会議員(経験者含む)、(2)植木産業に関する学識経験者、(3)本会の前会長とする。また、第4条の顧問の任期は「2年を満了として再任を妨げない」とする。

新樹種部会

令和6年度通常総会

新樹種部会は2月16日(金)、東京都港区赤坂サンスカイルームにて令和6年度通常総会に31名が出席し、開催された。

越川芳弘幹事が司会を務め、足澤匡副部長が開会を宣言。挨拶に立った丹下貴啓部会長は、元旦に発生した能登半島地震で被災された方々にお見舞いを申し上げると共に、長年新樹種部会の発展に尽くされた故三上常夫氏(株緑創)の功績を讃えました。

【総会議案審議】

(1) 第1号議案「令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告」

事業報告では、①設立30周年記念誌を制作・配布し、②千葉大学花葉会との国際園芸博覧会について新樹種部会の一層の協力をお願いしたいと述べました。眞鍋憲太郎担当理事は新樹種部会の役員が植木協会の理事を多く兼務していること

から、協会・部会が一体となって盛り上げていってほしいと話されました。総会は議案審議に移り、議長に瀧澤政己氏(株清紫園)が選出された後、議事録署名人に吉澤信行氏(株小金井園)、相澤裕氏(有相澤園芸)が指名されました。

(2) 第2号議案、役員選任(案)

令和6年度〜7年度役員候補15名について、議長が採決を諮ったところ、満場一致で承認されました。新役員は別室で部会長等の役職を互選する役員会を開催し、以下の方々が就任しました。

☆部会長：丹下貴啓氏 ☆副部会長：足澤匡氏、越川芳弘氏、古賀尚樹氏 ☆幹事：眞鍋憲太郎氏、川原田邦彦氏、石川重明氏、山崎隆雄氏、穴倉聡一氏、森川雅広氏、上条祐一郎氏、鶴飼幸治氏、小島幹央氏

☆監事：尾上信行氏、前野眞澄氏

(3) 第3号議案、令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)

事業計画は丹下部会長が全体観を説明した後、副部会長、各委員長が具体的な事業計画を説明しました。

【記念講演「アブダビのみどり」】

記念講演・講話は2部構成。若林先生は街路樹や公園



若林芳樹氏の講演



安藤敏夫部会顧問の講話

な研修会の実施などを通じて新樹種の魅力発信に努めることを示しました。また「新樹種ガイドブック」の新刊作成を促進することを発表しました。

令和6年度収支予算(案)

は事務局が説明。議長が出席者に諮ったところ、出席者から収支予算(案)の前年度繰越金に記載ミスの指摘があり、訂正を行いました。この他の追加意見はなく、第3号議案は賛成多数の拍手で承認されました。

議長は審議事項が全て終了したことを告げて退任しました。

次に令和6年度に部会入会された勝山明彦氏(株松盛園)、杉田高歳氏(株松園)が紹介されました。最後に古賀副部会長による閉会宣言がなされ、通常総会は滞りなく終了しました。

一方、都市部は脱塩水の生活排水を緑化の灌漑用水に用い、ヤシ類を中心にモトマナの緑陰樹、オウゴンなどの低木、ペニセタム等の草本類などが植栽されています。

若林先生は街路樹や公園

成。最初に(株)アスコットの若林芳樹氏による記念講演「アブダビのみどり」が行われました。若林先生は造園設計に長年従事し、特に植栽設計、植物調査に深い造詣をお持ちです。

若林先生は砂漠地域の緑化調査依頼から2005年〜13年にかけてアラブ首長国連邦(アブダビ)の自生植物の調査、種子採取、試験植栽などの業務に携わられました。

アブダビは大部分が砂漠に覆われていますが、湿気の多い海岸地帯や山岳地帯があり、独特の植生がみられます。ハマビシ類、ケツバの仲間など乾燥に適した植物が自生しています。

ドワンツツジは山採りで採取するため、将来的な資源の枯渇が懸念されます。計画的な採取と接ぎ木による育成で安定的な供給が求められ、新樹種部会員にも切り枝ビジネスの事業機会を生かしていただきたいと安藤先生は結んでいます。

この後、新樹種部会では会場を移動し、懇親会で親交を深めました。



総会会場風景

丹下貴啓部会長の挨拶



丹下貴啓部会長の挨拶



佐久定規会長の挨拶

この後、新樹種部会では会場を移動し、懇親会で親交を深めました。

(一社)日本植木協会 新役員体制紹介

今年度からの新役員体制が発足しました。理事の抱負、自社團の紹介。好きな言葉等を紹介します。

会長 佐久 定規
(有)千代田緑地 (茨城県)



の世代に美しい緑の環境を残すことは、私どもの責務であり、グリーン・トランスフォーメーションの活動に植木業界の社会貢献を積極的にアピールしていく所存です。

私は、日本植木協会の会長として、植木業界の発展と繁栄を見据え、以下の抱負を持っています。

まず、現在の植木業界が直面している課題に真摯に向き合い、解決策を模索していくことが重要です。植木需要の停滞や後継者不足、コスト上昇などの厳しい状況を乗り越えるために、組織の改革や効率化を推進し、協会の維持、発展を目指します。

また、2027年国際園芸博覧会への参加を契機に、日本の植木文化や技術を世界に発信していくことに力を注ぎます。この大きな舞台で、日本植木協会の存在感を高め、国際的な交流を促進します。そして、常日頃お世話になっている行政の各種業界団体と意思疎通を密にして、都市緑地の創出や緑の保全に役立つ連携や協力を活発化いたします。

最後に、協会の皆様との連携を大切に、団結して植木業界の未来を切り開いていきます。皆様のご支援と協力を得ながら、日本植木協会をより一層発展させ、業界の発展と繁栄に貢献していきます。会員の皆様、ご協力のほどよろしくお願い致します。

副会長

辰巳 広之
(株)植木広園 (兵庫県)



この度、副会長、青年部会担当理事と二期にわたる方向に進もうとしています。

副会長

生駒 順
生駒植木(株) (神奈川県)



昨期に引き続き、副会長

副会長

石井 新次
石井農園 (神奈川県)



理事のメンバーは、青年部時代に共に幹事として活動してきた方々です。あの頃の熱い思いを胸に、共に困難を乗り越えていくことを願っています。厳しい状況に直面していますが、会員の皆様と力を合わせて力強く前進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

国内需要の拡大、農産物輸出の拡大、後継者育成、わが協会が対応していかなければならない事象は山積みです。そういった様々な事案もそこに我々のビジネスチャンスがあるのではないかと前向きで外向的な発想に転換できる強い産業、強い協会となる運営を心掛けたと思っています。

当園は横浜の地で昭和初期から庭木の生産販売、施工管理を行ってきました。昨今は施工管理の比重が高くなっていますが、後継者も出来ましたので、状況をみながら生産にも力を入れ

る方向に進もうとしています。

好きな言葉は、高校の恩師に頂いた言葉「二期一会を大切にしていきたい」と心掛けています。

理事 眞鍋 憲太郎
眞鍋庭園苗畑 (北海道)



理事

大久保 吉広
(有)猿島ガーデン (茨城県)



皆様方には日頃より(一社)日本植木協会の事業等にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、理事という大役を仰せつかりました、(有)猿島ガーデン大久保吉広と申します。よろしくお願いたします。

はなはだ微力ですが協会の発展に誠心誠意努力いたす所存でございますので皆様のご指導・鞭撻のほどよろしくお願い致します。

弊社は、関東平野のほぼ中央で茨城県西部に位置し、千葉県、埼玉県との県境にあり、この県西部は樹木の生産地でもあります。また圏央道の開通に伴い首都圏が近くなり西の玄関口として流通がともな便利になりました。昨年、前社長大久保利一の後任として代表取締役に就任したばかりで微力ではございますが、この重責を担い私を含め11名の従業員とともに社業の発展に緑化産業の発展に誠心誠意努力いたしながら、工事部(公共)、管理部(各企業)、生産部と分担をいたし緑化樹木の生産販売・卸業を行っております。

サクラ類をはじめ各種雑木類を生産し、より良い樹木を出荷出来るように近隣の植木農家さん達とともに努力協力をいたしながら頑張っており、緑化産業を盛り上げていきたいです。

結びとなりましたが、日本植木協会の皆様のご発展をお祈り申し上げます。

理事

黒田 晴彦
(有)美好緑化 (愛知県)



理事

栗原 隆治
(有)栗原緑地 (埼玉県)



この度、新役員を拝命いたしました、さいたま市で植木の生産・卸しを営んでいる(有)栗原緑地の栗原隆治と申します。この様な大任は初めてなので、責任の重さとともにプレッシャーを感じております。日本植木協会は、植木生産界に欠かせない唯一の団体として、歴史と実績のある団体と承知しております。微力ながらも協会の運営にお手伝いできれば幸いと思っております。

好きな言葉は「人にやさしく」です。

今年度、中部ブロックより理事に選任されました愛知県支部の(有)美好緑化の黒田晴彦です。コンテナ部会と緑育委員会の担当理事を仰せつかりました。協会員の皆様や植木緑化産業のお力になればと思います。

若輩者ではございますが、ご指導・鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事

橋本 幸夫
橋本園芸 (愛知県)



この度、中部ブロックの選出で理事を仰せつかりました愛知県の橋本幸夫です。当園は愛知県支部西部にあります。創業年ははっきりわかりませんが祖父は戦前には植木関係の仕事をしていました。現在当園は家族経営の小さな園で大量生産は出来ませんが、小回りの利くきめ細かな対応を心がけて仕事に努めています。

私はこれまで供給可能量調査委員会に長く携わってきました。今期は担当理事としてこの委員会に携わることとなり、引き続き調査の充実力を注いでまいります。当協会は情報を集めることは長いこと続けていますがこれを上手に活用する事はあまり出来ていないと常々感じております。コロナ禍もひと段落し(私自身は正直あまり実感は有りませんが)景気も上向きつつあるこの

好きな言葉の中に、『継続は力なり』という言葉があります。植木は商品になるまでに年月が掛かりますが日々の作業が何事にもみづくりが出来たらと考えています。またこの情報の発信によって協会の魅力が高まり会員の拡大にもつな

がればと希望しています。微力ではありますが誠意取り組みたいと思っております。好きな言葉は、挫折は過程、最後に成功すれば挫折は過程です。

理事

小島 幹央

(株)京都芳樹園
(京都府)



よる協会の変化を少しですが、肌で感じさせていたいただきました。協会の方向性や運営が非常に難しい時代となってきましたが、理事に就任したかぎり微力でも尽力し、協会がよりよく運営できるようにして次世代に繋いでいきたいです。

理事

内山 淳

(株)山都屋
(岡山県)



中国・四国ブロック長と理事を兼任させていただいて2期目になります。現在の緑化産業は、担い手不足・後継者問題、人件費・原材料費高騰など向かい風が吹く一方、2027年国際園芸博覧会、SDGs、カーボンニュートラル、グリーンインフラの推進など追い風も吹いていると思います。協会事業に参加して会員の皆様との繋がりを大切にしながらかが益々発展していくよう努めて参りますので協力の程よろしくお願いたします。

今年より関西ブロックより選出していただき理事を拝命致しました(株)京都芳樹園 小島幹央です。弊社は、大正4年に創業し、私で家業を始め4代目になります。



拠点は京都市西京区と京都府福知山市夜久野にある農場の2か所で樹木等の生産・卸売りをしています。農場では主にイロハモミジ・シダレザクラ等落葉樹とグランドカバー類を生産しております。

植木協会との関わりは当協会発足時より所属し祖父・父・私と3代お世話になっております。私自身青年部会では4期8年幹事を仰せつかり、時代の流れに

共・民間向け緑化工事や維持管理などを行っています。

好きな名言は、進化論で知られる生物学者のチャールズ・ダーウィンの名言「最も強い者が生き残るのではなく、賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残る者は、変化できる者である。」

「最も強い者が生き残るのではなく、賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残る者は、変化できる者である。」

理事

古賀 尚樹

愛花夢(株)
(福岡県)



日本植木協会への入会が就業してから目標の一つでした。日本植木協会は業界の王道を歩んで欲しいと思っています。植木を通して明日を考え、世界が平和であることを願い、勉強していきたいと思っています。わが社は、植木、果樹苗木、山林苗のコンテナ栽培生産をしております。

日本植木協会への入会が就業してから目標の一つでした。日本植木協会は業界の王道を歩んで欲しいと思っています。植木を通して明日を考え、世界が平和であることを願い、勉強していきたいと思っています。わが社は、植木、果樹苗木、山林苗のコンテナ栽培生産をしております。

理事

西郷 純一

西郷農園
(鹿児島県)



1期目を通じての経験を踏まえ、緑育委員会の担当理事兼委員長に2期目を仰せつかりました鹿兒島の西

現在、AI技術や最新技術により生活環境が著しく変化の中、樹木がもたらす癒しや緑の力は、時代の変化を超えて不変であり、公園、街路樹、地域の豊かな緑は、五感を通して人々の生活環境を豊かにしてくれるなど、うきうきのちか

は改めて再確認されています。

一方、植木業界は厳しい時代に直面しており、雇用の確保や技術の活用、植木の供給に直に関わる2024年問題、後継者問題、環境保全、市場の変化への柔軟な対応、品質管理の強化等の迅速な問題解決が急務です。

このような時代ですが、皆様と協力し、知恵を出し合いながら植木産業の発展を念頭に、より魅力ある協会を築いていく決意を新たにしております。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。大切だと思っている言葉は、一日一生です。

初めまして、東京支部の内田です。この度、東京支部長より監事に推薦していただき、喜んで受けさせて

監事

内田 耕一郎

曼珠苑
(東京都)



この度中部ブロックから選出され監事に就任いたしました。理事の経験はありませんが、新しい理事会メンバーと共にこれからの協会の運営に協力して行きたいと思っています。よろしくお願

いただきました。理事会のことは何も分かりませんが、諸先輩方にご指導いただき、少しでも力になれたいと思います。

当社は東京都調布市の深大寺山門前(観光地です)で、植木生産卸を営んでいます。場所柄、多品種少量、また急な注文が多く、せわしく動いています。注文に対応するため、父の代からお付き合い頂いている全国の社園様と、私の青年部時代の仲間、そして従業員、家族に支えられ、何とか乗り切っている毎日です。皆様、東京にいらした際は、是非遊びに来て下さい。お蕎麦でもご馳走させて頂きます。

私たちが青年部時代は、日本経済も活気に満ちて緑化業界も恩恵がありました。現在では私たちが扱う苗木・植木の需要は残念ながら伸びていません。このままでは後継者の育成や、生産・管理技術の伝承も絶えてしまいます。今こそ役員のみならず全会員協力して将来の業界のために知恵を出し合い前向きに進みましょう。

私は昭和初期に創業した仕立物屋の3代目です。現在は卸業と中木クラスを主体にクロマツ・マキ類の仕立物や常緑樹中心の生産を継続しています。この地域でも後継者不足や生産者の高齢化は深刻で、特産のマキ類の生産も十分に供給できずに困る思いをしています。

当社でもイヌマキ苗木の生産は継続していますが、スタッフの人数を考えると大幅な増産をできないのが現実です。長男も入社以来5年が経過し、少しずつ仕事も任せられるようになりました。青年部会に在籍していますので、鍛えてあげて下さい。

私も60代ですので、悲しいことに記憶力や体力の低下を感じるようになってきました。しかし、まだまだ衰えるわけに行きません。飲酒を控えるに(？)また、ウ

いします。とは言うものの、本年度は外部監査役が不在ですので責任重大です。一から勉強しながら役目を果たしたいと思っています。

私たちが青年部時代は、日本経済も活気に満ちて緑化業界も恩恵がありました。現在では私たちが扱う苗木・植木の需要は残念ながら伸びていません。このままでは後継者の育成や、生産・管理技術の伝承も絶えてしまいます。今こそ役員のみならず全会員協力して将来の業界のために知恵を出し合い前向きに進みましょう。

私は昭和初期に創業した仕立物屋の3代目です。現在は卸業と中木クラスを主体にクロマツ・マキ類の仕立物や常緑樹中心の生産を継続しています。この地域でも後継者不足や生産者の高齢化は深刻で、特産のマキ類の生産も十分に供給できずに困る思いをしています。

当社でもイヌマキ苗木の生産は継続していますが、スタッフの人数を考えると大幅な増産をできないのが現実です。長男も入社以来5年が経過し、少しずつ仕事も任せられるようになりました。青年部会に在籍していますので、鍛えてあげて下さい。

私も60代ですので、悲しいことに記憶力や体力の低下を感じるようになってきました。しかし、まだまだ衰えるわけに行きません。飲酒を控えるに(？)また、ウ

オーキング等で体力維持に努めます。そして、何事にも好奇心を持ち続け、研究これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

心をつけないようにもう少し頑張ります。「一生勉強」これが今の心境です。

株式会社アスコット
TEL.045-222-0215

大・好・評・発・売・中

高級アルミ樹名札

価格(消費税込み)

大型	8,800円
中型	7,920円
小型	7,150円
Sモデル	5,280円

横浜小学校
開校150周年記念樹
シデコブシ
Magnolia stellata
モクレン科 モクレン属
2024年5月14日 卒業生一同

新社屋竣工記念
ソメイヨシノ
創立30周年を迎え、新社屋を竣工したことを
記念して樹植します。
2024年5月14日 (株)アスコット

反転タイプ

●記念樹におすすめです!

〒231-0027 横浜市中区扇町2-4-5-201
メール/jumeifuda@ascot-f.co.jp
www.ascot-f.co.jp/

屋外で25年以上の耐候性
耐熱、耐蝕、耐薬品、耐摩耗性

QRコード

SUN HOPE

スギ苗や育苗、かん水のことなら、
サンホープにお任せください。

効率的かつ適切な水の管理で、安定した成長をサポートします。

水と環境をコーディネートする企業

株式会社サンホープ

本社 東京都目黒区中目黒1-1-71KN代官山4F 代表TEL 03-3710-5675 FAX 03-3791-7119
東京 153-0061 東京都目黒区中目黒1-1-71KN代官山4F TEL 03-3710-5660 FAX 03-3710-4997
崎 千885-0055 宮崎県都城市早鈴町1309-1 TEL 0986-25-1280 FAX 0986-25-9100

ホームページDIYアプリ

今なら! 協会会員様限定

15万円→12万円 20%OFF

税込16.5万円 税込13.2万円

HOPWEB!

ホップウェブ

QRコード

専門知識不要!
自作できる本格的なHP

オープン株式会社



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション※

メラレウカ・スノーインサマー

◎古川和生 古川庭樹園(大阪府)
☎0721-93-2673

学名 *Melaleuca linarifolia* 'Snow in Summer'

オーストラリア原産のフトモモ科の常緑樹です。初夏に羽毛状の白い花を咲かせ、花が咲くようすは、樹冠全体が雪を被ったように見えるので「スノーインサマー」と名付けられました。花はほのかに甘い蜜のような香りがあり、切り花として楽しむことができます。成木になると樹皮がねじれてペーパーパーク(紙のような樹皮)と呼ばれ、幹をつかむと樹皮が幹から浮いてふかふかしています。

メラレウカは「キャプテンクック(海洋探検家)が、この葉をお茶にして飲んだことから「ティーツリー」と名付けられた」と言う説があります。



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

新入会賛助会員紹介

(株)サンホープ

会社紹介 HP



〒153-0061
東京都目黒区
中目黒 1-1-71 KN 代官山 4F
TEL 03-3710-5675
FAX 03-3791-7119
E-mail cs@sunhope.com

この度、日本植木協会に賛助会員として入会をさせて頂いたいただきました(株)サンホープ代表の益満ひろみと申します。私の父であり、当社創業者の益満和幸は、マ

イクロスプリンクラーの父と呼ばれ1955年(昭和30年)に初めて日本に樹脂製スプリンクラーを紹介したのち、1977年に弊社を設立いたしました。以来、スプリンクラーを始めとした良質で最先端の様々なかがい機器を世界中から日本に紹介しております。

九州男児であった父親には将来を全く期待されず、卒業をして就職をした大手企業での仕事が女性蔑視であったことで、若いころに渡米をし、日本育ちの私ですが、人生の半分以上をアメリカで過ごしております。

アメリカでは、日本の大手銀行や、日本大手商社の現地法人にて当時では珍しい日本人セー

ルズとして、全米を担当として営業に従事してまいりました。

アメリカと日本では、販売方法や考えが異なることも多々ありますが、仕事はお客様のお役に立ち喜んで頂き、その対価を頂くという根本的な考えは世界共通のように思います。それは、どんなに時代が変わっても変わらないことだと思います。また、先代が当社代表であった当時に、自身の会社を立ち上げ、マーケ

ス、特にドリップ灌水は、植

アメリ

ティン

グ、プロ

モーション

等の力を付けました。

日本の植木は、海外でも大変評価されている芸術の一つです。

栽培や手入れには、繊細な投量や愛情が不可欠と思われま

す。そのお手伝いとして、当社の灌水資材が役に立てれば大変光栄です。

私は2003年に当社代表に就任以前より、創業社長と世界各国の展示会を訪問し、灌水資材の最先端技術に触れてきました。以来、世界のトレンドをいち早くキャッチする目を肥やしてきた自信もあります。

当社設立から早45年以上経ち、世界情勢、経済情勢も速度を増して変わりつつありますが、柔軟な「視野」をいつまでも大切に日々邁進してまいりたいと思

います。今後ともご指導の程よろしくお願

いいたします。



ドリップ写真

農業ワールド講演-益満代表



1973年 イスラエル大使館から表彰される創業者-先代社長

木やその苗に適した水量を点滴のように1滴ずつ与えて、厳密な水分管理を行い、作物の健康状態を最適に保ちます。少水量で均一に広範囲に水やりができるので、節水にも繋がります。

外出時には自動かん水タイマーを使用することで水やりもできるので便利です。

また、露地のみでなく、ビルやマンションの屋内植栽スペースにも適しています。

その他、コンテナ栽培・ミスト増殖装置・さし木・接ぎ木に最適なミストスプレインクラー、まき(実生)、木のポット苗、コンテナ栽培などに適した当社オリジナル商品のハンガースプレセット、グラウンドカバー(コンテナ栽培、木のコンテナ育苗、暑さ対策を考えた資材などは、植木目線、生産者様目線で、世界各国から取り寄せた資材を多数取り扱っております。

私は2003年に当社代表に就任以前より、創業社長と世界各国の展示会を訪問し、灌水資材の最先端技術に触れてきました。以来、世界のトレンドをいち早くキャッチする目を肥やしてきた自信もあります。

当社設立から早45年以上経ち、世界情勢、経済情勢も速度を増して変わりつつありますが、柔軟な「視野」をいつまでも大切に日々邁進してまいりたいと思

います。今後ともご指導の程よろしくお願

いいたします。

Acanthopanax sciadophylloides



Tatashi

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

②② コシアブラ

小岩井農牧(株)(岩手県)
たさ 足 澤 匡



「金漆」に由来しているのかは不明です。

また、「コシアブラ」の魅力は、秋の黄葉。「金漆」だけに金色の黄葉と言いたところですが、実は、透き通るように淡い黄色、レモンイエローなのです。大学時代に雲取山登山で出会ったことを今でも思い出します。

ところで、ウコギ科の仲間には、山菜として食用される樹木が多いのです。一番有名なウコギ科の山菜は、「タラノキ(たらば、たらっぺ)」で、アクが少なく、食べやすく、私は山菜の王様だと思っています。しかし、「コシアブラ」好きに言わせると、少し油臭くて、ほろ苦い「コシアブラ」が一番。さらに、「ハリギリ」を好む人もいます。でも、私は「タラノキ」が一番美味しいと思っています。あくまでも個人の意見ですが・・・。

ちなみに、春の山菜にはアクがあります。このアクは冬の間の毒素を出すため、ある程度必要な食べ物である、と聞いたことがあります。まるで、冬眠明けのクマが毒草である「水芭蕉」を食べるように・・・。

いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。

ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.22

(株)筑紫植物園

福岡県(福岡市)



マンションに囲まれているため、動物や虫が集まってくる事務所入口



社長の神代公治さん



神代亮さん



亮さんがこだわる見せる仮植の圃場



左から神代亮さん、日比生さん、北原さん、社長の神代公治さん、柴田さん



圃場

重要文化財のようなお屋敷ですね？

公治さん：「植木屋の創業は、明治37年頃の創業120年です。この家は明治の時に建てられ、今は事務所として使用しています。最近マンションが年々建ち、周辺が都市化していき、気が付くとうちだけ昔のままなんで、うちには面白い生き物が住んでいるんです」。

面白い生き物がいるとはどういうこと？

亮さん：「例えば、今では山の方でしか見かけない糸トンボ、色の綺麗なハンミョウ、コゲラ(きつつき)、ウグイス、メジロが住んでいます。小さい頃はイタチもいたし、母はアライグマを捕まえたこともありました(笑)。結局、周りの開発が進み、行き場を失った虫や動物たちがうちに逃げ込んできているということです」…筑紫植物園は最後の砦ですね。

公治さん：「以前、うちの裏にヒブナを飼っていた大きな水槽もあったのですが、近所からカエルの鳴き声がうるさいと苦情が来たので水を抜きました。カエルが居たのでヘビも居ました。動物たちにはオアシスでも、ヘビは居る、虫には刺されるやうで、住む者にとっては、こんなに住みにくい所はないですよ(笑)」。



ヒマラヤシダー鳥よけに自転車のタイヤで作ったヘビを作って掛けている(中央にぶらさがっているもの)

あの大きな木は？

公治さん：「明治の終わり頃、曾祖父が植えたヒマラヤシダーです。元々は今の県道の所にあったのですが、道路が出来るということで、立曳(たてび)き工法(かぐらさん)で移動しました。現在は樹高が高いのでツリーワークの方にロープでぶら下がりて剪定してもらっています」。

亮さん：「昔はマンションもなく、この木が一番高かったのに不思議と一度も雷が落ちてないんです」…それは守り木ですね。この事務所も庭も木もずっと残して欲しいですね。

ここ以外に生産の圃場はどこに？

公治さん：「ここから車で10分程の所と、1時間程の所に畑があります。離れていても日常的に田主丸地区等に集荷や配達があり、その中間地点ですので、集荷のついでに作業したりその逆のパターンもあるので効率よく出来ています。一昨日は13tクレーンで9.5mのクスノキを積みました」。

お父様が、亮さんは畑の仮植にこだわるって聞きましたが…

亮さん：「もちろんです。お客様がちゃんと見えるよ

うに1本1本間隔を空けて立てて仮植します。お金を頂くのですから、手間が掛かって」と言う。…見せる圃場にこだわるそう。そういう姿勢が立派ですね。

家に入る前はどこで修業を？

亮さん：「私は大学卒業後、はままつフラワーパークで6年程勤めていました」。

公治さん：「亮は無鉄砲なんです。はままつフラワーパークにいくなりアボなしで行って、「卒業したら俺を雇ってくれ」と、直談判したんです。後から塚本こなみ先生(現：理事長)に「突然来た子は貴方の息子さん？」と笑われました」…熱い志の持ち主ですね。



亮さんが手塩に掛けて育ててきたフジ(はままつフラワーパーク)

どうして直談判を？どんな仕事を？

亮さん：「卒業後、フジの勉強をしたかったのでフジを専門にしていました。藤棚は花の長さ(房)によって高さを変え、顔近くで香りを楽しめるよう、また、見た時に藤棚と花壇が1枚の絵になるように設計をします。ですから花壇担当者とも効果的に作業が出来るよう定期的に話し合いました」。

フジは奥が深い植物なのですか？

亮さん：「奥が深いというより、藤棚も鉢物も管理に手間が掛かります。管理がいいと花つきが良くなります。開花後は剪定だけでなくツルを結束し、棚の上に跳ねたりお辞儀をしているツルを一つずつシュロ縄で縛ります。一束50mのシュロ縄を1年で40~50本は使用するので、冬場は葉が落ちてロープばかり目立ってジャングルのようです」。

公治さんは、西日本短期大学で講師を？

公治さん：「はい、10年間勤めました。生徒の半分以上は、今までスコップすら持ったことのない子なので、どの科の学生にも高木の掘り取り、根巻き、移植の作業を経験してもらいました。危険が伴う時はきつく言いましたが、本当に楽しかったです。以前、協会事業の樹木識別ポイント講習会・試験も本短大で実施しました。現在は、福岡支部会員の(有)大福の古賀晃さんが講師をしています。おかげで本短大と福岡支部は良い関係が保てていると思います」。

奥様にお聞きします。どんなお仕事を？



奥様の神代伸子さん

伸子さん：「ずっと事務をしています。従業員さんの体調やケガは常に気になります。うちの従業員さんはケガや事故が少なく有難いのですが、ケガが少ないのは安全管理をよくしていることもあるように思います」

…配達の時、帰りが遅いと伸子さんはそわそわしていると公治さんが話してくれました。

亮さん：「ケガをすると“あれこれしちやいかん”と規制が厳しくなり徐々に仕事の効率が下がります。だから現場の人が安全な機械の使い方を教えれば、規制が減るはず。 “こうしたらいい”と言いますが、“これは絶対にするな!” も言います」…若いのに頼もしく感じました。

将来の展望は？

公治さん：「今は、フジは接ぎ木で増やすのですが、管理が悪いと接いだものではなく、台木からのツルが主となってめちゃくちゃになってしまいます。そのため今こちらで生産をしているフジは挿し木のものです。挿し木のフジとなると幹回り等の仕様の変更が必要になるので厄介ですし、四阿(あずまや)の設計基準はありますが、藤棚の基準がないので、将来の法的整備は息子に任せます(笑)。

現在は事務所に挿し木で伸ばしたフジのカーテンを作っている最中です」。

好きなことや趣味は？

公治さん：「学生時代に考古学をやっていたころ、2年ほど中世の窯跡の発掘調査にかかわりましたので、焼き物が好きです。窯元で茶碗を買ってきては、よく割ってしまいますね(笑)。高価なものにはなぜか割れます」。

亮さん：「ボクシングを観ること、水族館でじーっと飽きずに見ていることです」。

伸子さん：「私は無双真古流の華道をやっていて夫と京都に行くのですが、私は京都の生け花、夫は奈良のお寺・仏像を観て、帰りに京都駅で合流します」(笑)。



事務所の窓からは、動物たちのオアシスの緑が茂っていました

従業員さんの日比生さんに。どんなお仕事を？

日比生さん：「父が造園業なので剪定は理解が出来るのですが、ここは樹木の管理もしています。季節や大きさ、すぐに販売する木、保管する木、樹種によって付着する虫や散水量も違うので最初は覚えるのが難しかったです。この間は玉掛けの資格を取得しました」。



日比生さん(21歳)の趣味は料理だそうです。ふわふわのパウンドケーキ。“料理男子”ですね!

公治さん：「資格取得は仕事の効率化に繋がりますし、無茶をしなくなるので安全面のレベルも上がります。毎年1つずつ取得して欲しいです」。

従業員さんの柴田さんと北原さんにお聞きします。長く勤められている理由は？

柴田さん：「外での仕事が好きですし、雨の日は機械の整備と、毎日色々な仕事があるので楽しいです」。

北原さん：「柴田さんと同じですが、しっかり休日や有休も取得でき、家庭や地域の行事との両立が出来ることです。特に奥様が配慮してくれます」。



今回は青年部会の清瀧陽平さんと山田誠也さんが取材に同行してくれました。ありがとうございました。

震災復興を語り継ぐサクラを育む (株)みちのくビオトープ(岩手県北上市)がUR 震災復興支援に協力

独立行政法人都市再生機構(UR)は東日本大震災の復興支援の一環として、復興支援区域に生えていた樹木の子孫を東京都北区赤羽台の「UR まちとくらしのミュージアム」に植樹し、東日本大震災の記憶と教訓を後世に遺していくプロジェクトを進めていました。

私ども(一社)日本植木協会はこのプロジェクトのお手伝いを行い、2024年2月24日に宮城県女川町、岩手県陸前高田市の関係者を交えて祈念植樹が挙行されました。

植樹された樹木は宮城県女川町旧女川第二小学校のソメイヨシノ、同旧女川第一中学校のヤマザクラ、岩手県陸前高田市本丸公園のヒガンザクラの3本の子孫。ソメイヨシノは復興の過程で伐採されることとなり、取り木が行われ、受け継いだもの。ヤマザクラは辛うじて津波を逃れた中学校の敷地斜面にあったものを接ぎ木し、受け継ぎました。ヒガンザクラは避難場所として機能した公園のサクラを接ぎ木し、受け継ぎました。

具体的な育成管理業務は(株)みちのくビオトープ(岩手県北上市)が担当しました。複数回の母樹選定、穂木採取、接ぎ木、苗木育成と約3年をかけて丁寧な育成管理を心掛けました。祈念植樹作業を無事終えた担当の菅原英典さんは、「復興のシンボルの1つとして、被災地のサクラの苗木育成に携わることができ、大変光栄です。」と充実感をにじませ

ていました。
今後とも(一社)日本植木協会はみどりの力を発揮し、震災復興等の社会的に意義ある業務を進めてまいります。



旧女川第二小学校のソメイヨシノ



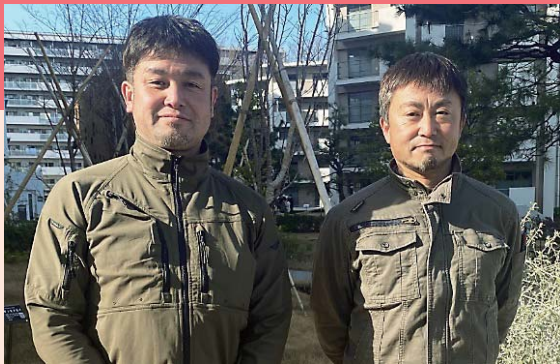
旧女川第一中学校のヤマザクラ



陸前高田市本丸公園のヒガンザクラ



関係者による祈念植



(株)みちのくビオトープ 菅原英典さん(左)と晴山正衛さん

連載「西欧自然環境保全の旅」第6回

パリ近郊の自然再生：クレティユ市長ビロット将軍の夢

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授 上河原 献二



◆プロフィール
1984年東北大学法学部卒業、環境庁入庁。
2013年より滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授として、環境法・環境政策を教える。現在は、侵略的外来生物管理法制度など自然保護法制度の国際比較を中心に研究。

クレティユ市(Créteil)はパリ中心部(ノートルダム寺院)から南東方向に約12キロの距離にあります。地下鉄(8号線)が通っていてパリの中心部(オペラ座)から30分余りで行くことができます。東側と北側を蛇行するマルヌ川と西側を流れるセーヌ川の合流点に近い氾濫原に位置しています。ヴァル・ド・マルヌ県の県庁所在地ですが、パリ郊外の新街区として発展しました。人口は、第二次大戦後に約1万人から急増して2021年現在で約9万3千人となっています。中心部は、1960年末から始まった都市計画プロジェクトによって整備された「新クレティユ」(Le nouveau Créteil)です。1965年から1977年までクレティユ市長を務めたビロット将軍は、人々が住み、働き、遊ぶことができる「本当の都市」を作るという夢を持って、この新街区を構想したのだそうです。新街区には裁判所、県庁、ショッピングセンターや集合住宅などの現代的なあるいは未来的な建物が並んでいます。パリ郊外のニュータウンの中には無機質な高層アパートが並んでかつ治安の悪いところもありますが、クレティユ市の新街区は

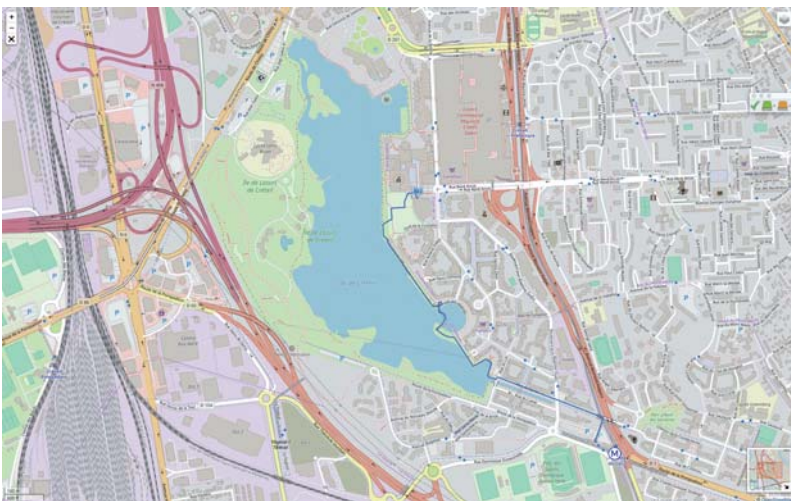
都市計画・建築の世界でも評価されているそうです。

その新街区の西部にはクレティユ湖とその周辺の緑地からなる公園があります。クレティユ湖は南北1500メートル、幅は最大で400メートルで面積は40ヘクタールあります。水深は浅く平均約4メートルです。湖岸にはヨットやカヤックの貸し出しも行っているセーリングスクール(Base nautique de l'île de Loisirs)、大きな野外プールを持つレジャーセンター(Île de loisirs de Créteil)があります。この湖と緑地からなる公園のおかげで周辺の住宅は、不動産市場で人気があるとのこと。

実はクレティユ湖の場所にもともと水はありませんでした。そこは1940年から1976年まで石膏と砂利の採取場だったのです。つまり、今では自然豊かに見えるクレティユ湖は人工的に作られたもののなのです。1968年に地元自治体がクレティユ公園の建設プロジェクトを決定したのがその始まりです。1978年から公園として開放されましたが、周辺の整備工事は1988年まで続けました。

クレティユ湖とその周辺の緑地は今では自然豊かな場所となっていて、その一部は国の生態学的・動植物学的重要自然地区(Zones Naturelles d'Intérêt Écologique, Faunistique et Floristique (ZNIEFF))に指定されています。湖岸には環境教育を提供するネイチャーセンター(Maison de la nature)があります。また、地元の自然愛好団体(Collectif du lac de Créteil)によって野鳥観察会などが行われ、また市民参加による調査によって2023年までに約500種の野生生物が確認されているそうです。

クレティユ湖では有毒なシアノバクテリアがアオコのように増殖することが問題になっています。流入する水質が悪いことに加えて、来訪者が水鳥に与える餌も水質を悪化させる一因となっているとのことです。2016年に私が訪問した時にもシアノバクテリアの増殖は既に話題に



クレティユ湖周辺の地図：出典 Le site du Collectif du lac de Créteil.



撮影：上河原 2016年9月



撮影：上河原 2016年9月



整備途中のクレティユ湖周辺：出典 Le site du Collectif du lac de Créteil.

なっていましたが、2023年8月から水に浸かるリスクがあるとしてパドル・ボートとウィンド・サーフィンの利用は停止されています(ちなみに、水泳は安全を保障できないという別の理由で1979年から禁止されています)。また、南米原産の侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイが定着していて、2016年に訪問したときには機械による大規模な刈り取りが行われていました。大都市近郊の自然再生地は人々から愛される場所となっていますが、その生態系は不安定で費用と人手をかけて管理が行われています。

連載「多肉・珍奇植物」

第7回 色彩豊かなロゼット葉に魅せられる、エケベリア

東京都市大学環境学部教授 飯 島 健太郎



◆プロフィール

東京都市大学環境学部教授。桐蔭横浜大学工学部専任講師、同医用工学部准教授を経て現職。博士（農学）。日本造園学会賞／研究論文部門受賞、東京農業大学造園大賞受賞。著書：『新しい都市緑化・ガーデニング材料／多肉植物』（ソフトサイエンス社）、『サボテン大好き』（講談社）、『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』（主婦と生活社）、『サボテン全書』（監修、グラフィック社）、『多肉植物全書』（監修、グラフィック社）など。

色彩豊かで、手のひらサイズの整ったロゼット葉を展開する多肉植物といえば、エケベリアの仲間がメジャーであろう。

ベンケイソウ科エケベリア属の総称であり、メキシコを中心に中南米に約180種が知られる。最近になって数多くの園芸交配種が作出されており、コレクション意欲も尽きることのないグループである。属名のエケベリアは、18世紀にメキシコで活躍し、メキシコ植物誌の挿絵を描いた植物画家アタナシオ・エcheverria（Atanasio Echeverria）に因んで付けられた。

ビジュアルプランツ人気と並走するように近年その愛好層を拡大している。ゲージルトrend機能による「エケベリア」の検索傾向からもその様相が見て取れる（図①）。「並走」としたのは、いわゆる珍奇植物を象徴する対象ではなく、セダムをはじめとするベンケイソウ科の葉もの多肉植物の人気に乗じて、その高級路線にエケベリアが存在感を呈してきたからである。ホームセンターには多様な葉もの多肉植物が揃えられているほか、昨今の各地の都市公園などで展開されるグリーンマルシェにおける多肉植物の販売が活発化しているが、中でもエケベリアが目立っている。そこには、鉢のこだわり、寄せ植え、コレクションも含め、女性を中心とした多様な愛好層が集まっている。「多肉女子」のみならず、その中でもエケベリアをこよなく愛する女子を意味する「エケ女」なる語も見られるなど興味深い現象が起きている。無骨なフォルムと渋めの色彩を愛好する男性的な思考ではなく、まさにジュエリーのようなフォルムと色彩を呈するエケベリアはどちらかというと女性好みの対象なのかもしれない。とりわけ晩秋から春にかけて陽光に恵まれた環境ではロゼット葉が美しく紅色に染まり、初春から夏にかけては小輪の色鮮やかな花を開花させるなど1年を通じて楽しむことができる。様々なサイズがあり、小型種の代表エケベリア・ミニマ（*Echeveria minima*）は直径3cm程度であり、大型種の代表であるエケベリア・ギガンテア（*E. gigantea*）は直径40cmにもなる。葉の色は緑色のみならず、赤、黒、白、青色、さらにはピロードを呈するものまであり、多種多様である（写真①）。昨今人気のシャビアナ（*E. shaviana*）や青い渚（*E. setosa* var. *minor* 写真②）などは標高の高いところに産するため日本では高温が苦手である。一方、葉が真っ白な粉で覆われるラウィ（*E. laui*）は低地性であり、暑さには強いが低温に弱い。エケベリアのなかでも種や品種によって特性には幅があり、栽培難易度も同様に種類によって異なる。

そのようなエケベリアは昭和時代の民家の軒先で目にする機会も少なくはなかった。日当たりと風通しがよく、それでいて降雨が避けられる軒下環境はサボテンや多肉植物に好適な環境であり、サボテンの短毛丸とともにエケベリアの七



写真③ 露地植えとして群植された七福神



写真④ ロゼット葉のみでも美しいが開花も楽しめる（七福神／高咲蓮華）
福神（*E. secunda* 写真③）などがしばしば並べられていた。蓮のような草姿と長い花茎をもつことから高咲蓮華とも呼ばれた（写真④）。

しかし昭和の多肉植物趣味の世界において、エケベリアは決してメジャーな存在ではなかったという。その渡来は比較的古いとされる。日本原産のオロスタキス類（イワレンゲなど）に似ているのでサボテン・多肉植物界では、あまり注目されておらずクラスラ（*Crassula*）、セダム（*Sedum*）属などのベンケイソウ科、ハオルチア（*Haworthia*）などの（ユリ科／現在：ススキノキ科）等とともに「葉もの」として駄もの扱いされていた。



写真⑤ 実際園芸増刊号（1931）：趣味の仙人掌栽培（筆者所蔵）

写真⑥ エケベリアの記事
蓮華類とも呼ばれていた。サボテン・多肉植物界では、あまり

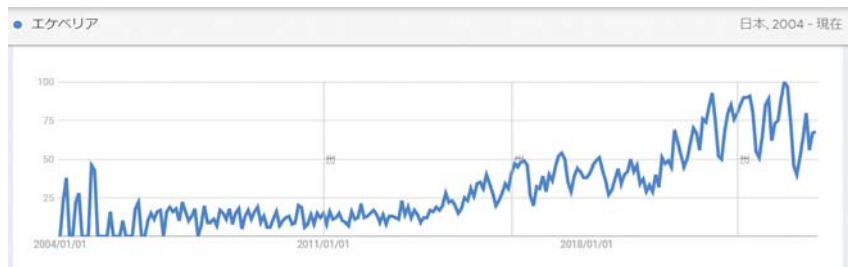
注目されておらずクラスラ（*Crassula*）、セダム（*Sedum*）属などのベンケイソウ科、ハオルチア（*Haworthia*）などの（ユリ科／現在：ススキノキ科）等とともに「葉もの」として駄もの扱いされていた。

記録に登場するのは昭和6年（1931）の『趣味の仙人掌栽培』（実際園芸増刊号：写真⑤⑥）にある松澤進之助の「趣味の深い多肉植物の品種と培養」の記事がある。「エチベリア 此の属のものは俗にレンゲと云われるものであります。蓮華の花を上から見たやうに、多肉の葉が重なり合って居るから此の名がある譯です。花は長く花梗を出して着生しますが、見るべきものではありません。専ら其の面白い形態と色彩に観賞の目的があります ～あまり普及は致して居りませんが、鉢植にして書斎の一隅に置くなり、又繁殖は強いものですから、越冬さへ合理的に行けば發生して美観を呈するもので一寸面白いものです。」とその活用を促す解説がある。そして錦司晃、月影、養老、陽明の解説と共に、松緑、金晃星、和唐内、七福神、祝ひの松、龍田鳳、軍旗が品種として名を連ねている。大塚春雄（1929）：『仙人掌の種類と栽培』にいたっては、巻末の多肉植物の項では当時話題のユーフォルビア、スタペリア、セロペギア、ドヴァリア、ヘウルニア、クレイニア、ハオルチア、メツセムブリアンセマム、蘆薈と見出しが並ぶが、エケベリアは「その他の多肉植物」のなかで、曙（*Cotyledon agavoides*、現在は東雲として流通）、鯉（*Cotyledon agavoides cristata*）、金晃星（*Cotyledon pulvinata*）、大和錦（*Urvinia purpusii*）が記載される程度であった（属名は何れも当時の分類）。その後、戦前のサボテン生産農家（光兆園、京楽園、堀田千草園、林農園など）のカタログにもエケベリアが登場するが、さほど取り扱い品種は増えておらず、その傾向は戦後もしばらく続いたようだ。その一方で、昭和9年の林農園のカタログの表紙写真にエケベリアが登場していたことは興味深い（写真⑦）。エケベリアがコレクション対象のグループとして愛好されるようになったのは昭和40年頃であり、植物学者のドドソンより、まとまった野生種、園芸品者が導入されてからだという。近年では、エケベリアコレクションともいえる多数の鉢がガーデンセンターやホームセンターにも並び、色彩や形態の美しさを求めて続々と育種も行われている。



写真⑦ 前のサボテン生産農家のカタログ（筆者所蔵）

エケベリアの多くはロゼットをお椀形に展開するためその中に水が溜まりやすく、雨ざらしの露地植えではトラブルを起こしやすい。一方、比較的丈夫で群生しやすい種類もある。コレクション対象としてのみならず、ドライガーデンのキセロフィルの一つとしてエケベリアの強健種を積極的に活用したい。



図① ゲージルトrend機能による「エケベリア」の検索傾向



写真① 葉の色彩は多種多様／下段の両サイド鉢はエケベリアではない



写真② 青い渚

谷口産業株式会社

— 緑化資材の様々な製品取扱っています —

072-432-1828

大阪府貝塚市二色南町8-3

https://ts37.co.jp



万能フゴ



TSポット



植木テープ



TSシート



しゅろ縄



ポット樹木運搬用袋



植樹テープ



万能シート



モッコ



根巻用テープ

植木用のポットは 東海化成におまかせください!



TOポットインポット

TO浅鉢安定型ポット

TOナーセリーコンテナ

TOロングポット

TO深鉢

TO平鉢

株式会社東海化成

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代66
TEL / 0575-33-4112 FAX / 0575-35-1998
http://www.tokai-kasei.co.jp



サクラミチへの思い・挑戦 植木屋の可能性に挑戦したい …植木屋さんの未来へのヒントがいっぱいありました！

第2弾はアソブル(太陽光パネル下で栽培しているブルーベリー園)を紹介します！



シダレザクラと阿蘇山根子岳(ねこだけ)と青空が融合したサクラミチ



(有)大阿蘇造園の皆さん

(有)大阿蘇造園 熊本県(阿蘇郡)



Zoomでの対談画面 左から農場長の工藤大樹さん、社長の後藤英保さん、営業部長の後藤保範さん



サクラミチの周りには10種類のサクラが1万本以上咲く



植木を仮植できる冬の時期に3年間掛けて、コツコツと1万本を植えたサクラ並木。



アソブルカフェは、東京ドーム1個分の広大な敷地の“大阿蘇ブルーベリー園”のブルーベリーを使った美味しいスイーツがあります。

の許可を得ました。交通手段に関しては、自治体に役場からサクラミチまでの巡回バス2台用意してもらい、自分達でも車3台を用意しました。この先もこのような状態では、私たち主催者側だけで開催するには、本当に限界になってきました」…それは大変なことです。ぜひとも、来年のサクラミチを楽しみにしている多くの方々のために、自治体にご理解とご協力をお願いしたいものです。

工藤さんは社長にヘッドハンティングされたのですよね？

工藤さん：「きっかけはそうですが、サクラミチを見た時に、サクラが人の気持ちや感情をこんなにも動かすことが出来ると実感し、自分の感情が高ぶり、自らここで働きたいと思いました。以前の職場は、毎日室内でしたが、ここは四季を感じながら毎日色々な仕事が出来て本当に楽しいです。この樹は何だろう、どんな花を咲かせるのだろう…と知りたい事ばかりです」。

保範さんと工藤さん(英保さんにとって娘婿さん)の若手がいて、頼もしいですね。

英保さん：「はい。この息子たちに新たな植木屋を担って欲しいです。私も現在の協会理事さん達とは、青年部会で共に頑張った仲間です。私ももう少し植木屋界を盛り上げるために、息子たちと一緒に頑張っていきたいです。サクラミチだけでなく、隠れサクラミチスポットもありますし、2500ポットのブルーベリー園“アソブル”は今年7月にオープンです。その周りには見事なサルズベリ並木も作ったので、次回はぜひ見に来てください」…はい！第2弾として夏にアソブルのお話をお聞きます！



キッチンカーフェスの様子



交通整理をする工藤さん

Zoom インタビュー

サクラミチは現在、桜名所になってきましたね？

後藤英保さん：「阿蘇郡高森町の防災道路の両脇にシダレザクラを3年間かけて、植木の仮植ができる冬の時期に植え始め、今年で5年目です。2kmに渡って6m間隔で植えてあり、現在、シダレザクラは樹高5m程、葉張り6m程に生長し、来年は間引きしなくてはならない状態になってきました。10、20年後はサクラの下を歩いて、100年後はサクラトンネルを車で走れます」…すごい楽しみです！

Instagramで見ると1万本以上の桜のピンクと青空と菜のコラボが素敵ですね。

英保さん：「写真も綺麗ですが、実際に来て見てみると分からないですよ。道路沿いのピンクのシダレザクラの外周には、白いウミネコザクラや10種類程のサクラが植えてありますし、ポイントは根子岳を背景にサクラが映えることです。ここ防災道路の周りの畑は東京ドーム4個分の面積が一体化した絵となります。ここまで作り上げるため、一部は他の農家さんの畑もあるので、その方々の理解や協力を得てこのサクラミチが成り立っているのです。その点はとても感謝しています」。

どうしてこのサクラミチを作ろうと思ったのですか？

保範さん：「熊本地震や豪雨という自然災害の後、コロナ禍となり、みんなが元気がなかった頃、植木屋と

して自分達が地元の方々に対して何か出来ないか？と思い、父とこの防災道路の周りにこのシダレザクラを植えて、みんなが元気に笑顔になって欲しいと思い、コツコツ植え始めました」。

英保さん：「また、“植木屋”と聞くと、多くの人は剪定をする植木屋さんを想像し、庭にある植木が何処でどのように育って運ばれてきたか知らない方がほとんどです。このサクラミチを見た多くのの人に植木を知ってもらい、逆に私たち植木屋は、植木屋同士や造園会社との関係だけでなく、一般の方々や多業種と関わり植木の可能性を広げたかったのです」…時代に合った、時代を見据えた植木屋さんですね。植木屋さんの高い志を感じました。

入場料を取られてないのですよね？

英保さん：「この防災道路は熊本地震後に出来た大切な道路です。熊本復興の意味もあるので、私の気持ちとしては“恩返し”という気持ちもあり、なかなか入場料を頂くという気持ちになりません」…謙虚すぎですね。

でも、イベント費用も準備も相当大変ですよね？

英保さん：「ありがたいことにテレビや雑誌の取材が多く、サクラの名所になってきた分、ガードマン代、駐車場約200台整備、トイレ設置等と、正直、数百万と相当な費用が掛かってきています。安全面に関しては、何度も警察に行き、どうにか歩行者天国の道路

お知らせ

「樹木識別のポイント講習会」参加募集

植木圃場から教室に生きた樹木の枝葉を持ち込んで、似ていて間違いやすい樹種を葉と枝だけに見分けるポイントを学びます。

- 日時・場所 令和6年6月15日(出) 13:00~16:00
- 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
講師 協会員:川原田邦彦氏、吉澤信行氏、山崎隆雄氏、八木峰夫氏
- 費用 一般:5,500円(税込)、学生:3,300円(〃)
- 定員 各60名
- 造園 CPD・樹木医 CPD プログラム認定

「環境緑化樹木識別検定試験」実施のお知らせ

環境緑化樹木識別検定試験は、みどり豊かな環境形成に重要な樹木100種類の名前を正しく識別する検定です。

- 日時・場所 令和6年7月13日(出) 13:00~15:00
大田区産業プラザ・PIO(東京都大田区)
- 受験料 一般:8,250円(税込)、学生:4,400円(〃)
- 申込締切 令和6年6月28日(金)
- 造園 CPD プログラム認定申請中

令和6年度 都道府県別供給可能量調査 開始案内

全支部の提出に向けご協力をお願いします。
調査期間:令和6年7月1日(月)~7月31日(水)

※6月下旬に入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部IT委員にお送りします。
※調査結果は協会ホームページで公開し、官公庁及び造園関係団体の材料調達時の参考にさせていただきます。

令和6年度 社園別生産数量調査 開始案内

協会事業である社園別生産数量調査を下記日程で実施します。全社園様の提出に向けご協力をお願いします。
調査期間:令和6年6月15日(出)~7月20日(出)
①協会ホームページの会員ページにログインし、IDとパスワードを入力、②社園別生産数量調査入力用システムをダウンロード、③データを入力、④データ入力完了後にアップロード送信。※詳細は同封した別紙「入力マニュアル」でご確認ください。

生産数量調査代行入力について

生産数量調査について、エコスに代行入力をお願いすることも可能ですが、代行入力は有償です。料金の目安は70円/件、及び結果資料の送付料金等となりますので、希望される方は下記にご連絡下さい。

エコス 大島 寿裕
(Tel) 045-309-0018
(Mail) sp_ohata@daiary.ocn.ne.jp

会員動向

代表者変更

▷(株)浅井農園(三重県)
(新)浅井 洋平 (旧)浅井 常生

担当者・メール変更

▷(株)備藤園(埼玉県)
(新)備藤 貴大 (旧)備藤 泰充
b_plants@bito-en.com